

【カツゼン式の台本構成】

- ① インパクト（問題提起／逆説）
- ② 共感（ターゲットの心に寄り添う）
- ③ 抽象的で端的な答え（結論提示）
- ④ 具体的説明（誰でもできるように噛み砕く）
- ⑤ CTA（他の投稿へ誘導）

【基本的な台本の制作手順】

- ①上記5つの台本構成で作りたいと、設定を GPT に入力する
- ②フィード画像を GPT で読み込んで、文章化させる。
- ③その原稿を、上記5つの構成に則って「台本化」させる。
- ④全体像のイメージができれば、肉付けをして、理解と共感を深める内容にする

【AI 時代で埋もれない投稿の磨き方】

- ① 「自分の声」と「体験談」を必ず入れる
- ② 「誰に向けているか」を毎回明確にする
- ③ 映像や演出に“オリジナルの表現”を足す
- ④ 「空気感」＝人間らしい間と笑いを入れる
- ⑤ 「自分の世界観」を守る

【この台本構成の AI の評価】

1 スクロールを止める「インパクト」と「逆説」

→ 近年のアルゴリズムでは、最初の 3 秒で離脱するユーザーを引き止める構造が必須。

2 「共感パート」で自己投影を促す

→ 視聴者は「自分に必要なリール」と認識した時点で再生が継続されやすい。

3 抽象度の高い結論 → 具体化

→ これがあると、短尺でも「納得感」と「価値提供」がバランス良く収まる。

4 最後の CTA でフォロワーを増やす仕組みを明確化

→ 単なる“見て終わり”ではなく、アカウント内を回遊してもらう意図が明確。

総じて、「短尺で行動を起こさせる」には、非常に理にかなっています！

●加えて、ヒロミさんのアカウントの場合

ターゲットは「初心者」ですので、安心感を付加すると良きです！👍

ステップ	内容	ポイント
① インパクト	例：「これ、全部やってませんか？」「Canva 初心者が必ずつまづく3つの落とし穴」	初心者向けには“当事者意識ワード”が効果大
② 共感	「私も最初、全然できませんでした…！」「誰でもここで止まっちゃうんです」	ヒロミさんの“等身大の経験”を軽く入れる
③ 答え（抽象）	「だから、初心者さんは〇〇だけ覚えれば大丈夫」	答えを1つに絞って安心感を
④ 具体化	「例えば…このボタンだけ押してください」「こうすると文字がズレないです」	できるだけワンアクション・1秒で真似できるレベル
⑤ 安心付加	「慣れなくてOKです！私もできなかったので大丈夫です」	初心者の“失敗恐怖”を潰す
⑥ CTA	「他にも初心者さん向けのコツ載せてます♪」	フォロー誘導だけでなく、回遊を促す

【ヒロミさんにお勧めな6つの台本構成】

- ①インパクト（冒頭三秒で視聴者の心を掴むためのインパクト）
- ②共感
- ③答え
- ④具体化
- ⑤安心付加
- ⑥CTA

サンプルフィードを活用した、台本作成例

① インパクト

「Canva 初心者みなさん！
そもそも、まずどこから触ればいいのか…迷っていませんか？」

② 共感

「私も最初、どこを押したらいいか分からなくて、
何度も迷子になりました。」（実体験を少し）

③ 答え（抽象）

「でも大丈夫です！
初心者さんは、まずはホーム画面の
3つのポイントだけ覚えてください。」

④ 具体化

「1つ目は、左の『作成』ボタン。
ここから新しいデザインが始められます。
2つ目は、『テンプレート』。
迷ったら、ここから好きなデザインを選んでみてください。
3つ目は、『プロジェクト』。
作ったデザインはここに自動で保存されているので、
後で安心して探せます。」

⑤ 安心付加

「この3つだけで、
Canva の迷子は卒業できます♪
完璧じゃなくて大丈夫なので、
少しずつ触ってみてくださいね。」

⑥CTA

他にも初心者さん向けのコツを載せています！
CANVA に迷ったら、ヒロミ先生をフォロー👍

これで、350 文字くらい。
速度調整にもよりますが、600 文字で 90 秒という目安です。
(200 文字で 30 秒、400 文字で 60 秒)

リールは 60 秒前後で「ためになる価値提供」をするのが good です！

【その他の、よくある台本構成】

色々試していただいて、ご自身のターゲットに響く構成を見つけることが大切です👍

①【ビフォーアフター型】

強い共感と安心を与えやすい王道構成。

構成

1. 【Before】「私はこんなにできなかった！」
2. 【問題の核心】「だから、こんな失敗をしていました」
3. 【転機】「でも、これを知って変わりました！」
4. 【How】「ポイントはこれだけ！」
5. 【After】「今はこんな風にラクにできています」
6. 【CTA】「詳しくは他の投稿でお伝えしています」

AI による例（Canva 初心者向け）

Before:

「最初、Canva を開いても何から触っていいか分かりませんでした」

問題:

「作っても、どこに保存されてるか分からなくて、何度も同じものを作り直し…」

転機:

「でも、ホーム画面の“ここだけ”覚えたら迷子がなくなったんです」

How:

「覚えるのは3つ！作成・テンプレ・プロジェクトだけ！」

After:

「今は、デザインが楽しくなりました♪」

CTA:

「他の初心者向けコツも投稿しています！ぜひプロフィールから見てください！」

②【Yes／No クイズ型】

ターゲットの「当事者意識」を一瞬で引き出す構成。
エンタメ感があり、保存されやすい。

構成

1. 【問いかけクイズ】
→ 「Canva 初心者さん、これ…全部やってませんか？」
2. 【あるある列挙】
→ 「①テンプレート探しだけで 30 分 ②保存場所が行方不明…」
3. 【答え・解決策】
→ 「これ、ホーム画面のコツを知れば解決します！」
4. 【ポイント】
→ 「作成・テンプレート・プロジェクト！これだけ覚えてください」
5. 【安心】
→ 「大丈夫！私も最初は全部やってました」
6. 【CTA】
→ 「もっと簡単なコツはプロフィールからチェック！」

③【ステップ型】

「初心者が何をすればいいか分かる！」
という心理的安心を提供する分かりやすい構造。

構成

1. 【一言問題提起】
→ 「Canva 迷子さん、今日で卒業！」
2. 【3 ステップを先に宣言】
→ 「これからお話する 3 つを覚えてください！」
3. 【ステップ 1】
→ 「ステップ 1：作成ボタンを押す」
4. 【ステップ 2】
→ 「ステップ 2：テンプレートを選ぶ」
5. 【ステップ 3】
→ 「ステップ 3：プロジェクトで管理する」
6. 【安心&保存したくなるまとめ画面】
→ 「3 つだけならできそうですね♪」
7. 【CTA】
→ 「他にも初心者コツ載せてます！プロフィールからどうぞ！」

④【なぜ？→だから！型】

論理的で説得力が増す構成。
知識系で「なるほど！」と思わせやすい。

構成

- 1. 【Why】「なぜ Canva で初心者が挫折するのか？」
- 2. 【理由】「最初にホーム画面を理解してないからです」
- 3. 【だから】「だから、最初はこの3つだけ覚えてください」
- 4. 【How】「作成・テンプレ・プロジェクト！」
- 5. 【安心】「これで迷子卒業です♪」
- 6. 【CTA】「もっと初心者コツは他の投稿へ！」

🟢🌟 まとめ

構成名	特徴	向いている投稿
ビフォーアフター型	実体験を交え信頼性アップ	共感強化、安心感
クイズ型	巻き込みやすく保存されやすい	あるある系
ステップ型	シンプル・行動が具体化	How 系 Howto
なぜ？→だから！型	理解が深まる、説得力	Tips 系

どの構成でも、ヒロミさんの“私もできなかった”という優しい共感が入ると、
どんどんファンが安心して集まってきます。まずは、色々試していきましょう👍

PC 画面で動画編集するためのフリーソフト